

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

平成25年度病虫害発生予察速報第6号について

このことについて、病虫害発生予察速報第6号（チャバネアオカメムシ）を発表したので、送付します。

本年はチャバネアオカメムシの発生量は前々年並ですが、9月2半旬の調査で被害の激しい園が一部で見られました。今後、果樹園での飛来が多くなり、被害の拡大が予想されますので、ほ場での発生状況の把握に努め、適期防除の徹底について指導願います。

速報 第6号

1 対象作物：果樹全般（カキ、カンキツ、ナシ等）

2 病虫害名：チャバネアオカメムシ

3 発生地域：県下全域

4 発生量：後期発生型の平成23年並
（一部の地域：多）

5 注意報の根拠

(1) ヒノキ球果の口針鞘数調査

県下26カ所における9月2半旬のヒノキ球果の口針鞘数調査の結果、口針鞘数は平均16.0本と前々年並（16.9本）であった。地域により2.4～30.8本とバラつきがあり、多い地点ではチャバネアオカメムシがヒノキから離脱する目安とされる25本を越えている（表1）。

(2) ヒノキ球果のビーティング調査

県下26カ所における9月2半旬のヒノキ球果のビーティング調査の結果、チャバネアオカメムシのヒノキ球果での幼虫の寄生虫数は2.0頭で、8月5半旬の3.5頭より少なくヒノキからの離脱がすすんでいると予想される（表1、一部データ略）。

(3) 予察灯における誘殺数

県下4ヶ所の予察灯における8月6半旬～9月1半旬のチャバネアオカメムシの平均誘殺数は533頭と前々年（378頭）並である（図1）。

(4) 果樹カメムシによるカキの被害状況

9月上旬のカキの被害状況は、被害果率で「西村早生」は8.3%、「富有」は5.9%と前年、前々年、平年より高く、被害果の発生が多い地域が認められている（表2）。

(5) 今後の気象予報

福岡管区気象台が9月6日に発表した1か月予報では、9月7日～10月6日の気温は高く、降水量は平年並とされているので、カメムシ類の活動が盛んになることが予想される。

表1 ヒノキ球果の口針鞘数及びヒノキのビーティング調査によるチャバネアオカメムシの寄生虫数

調査場所	口針鞘数調査		ビーティング調査(頭)								計
	ヒノキ球果		チャバネアオカメムシ								
	被害球果率(%)	口針鞘数(本)	成虫数	幼虫数					計		
			1令	2令	3令	4令	5令	計			
本所管内	宗像市山田	100	18.3	18	0	1	1	0	0	2	20
	糸島前原	100	26.3	2	0	1	1	0	0	2	4
	古賀市青柳	100	20.9	2	0	0	0	0	1	1	3
	久留米市田主丸町益生田	100	22.7	6	0	0	1	0	2	3	9
	久留米市田主丸町森部	100	24.4	28	0	1	0	0	2	3	31
	うきは市浮羽町小塩	100	10.8	9	0	1	0	0	0	1	10
	朝倉市長谷山	65	4.1	3	1	0	0	0	0	1	4
	朝倉市柿原	100	17.4	3	0	1	0	0	2	3	6
	朝倉市屋形原	100	6.6	8	0	0	0	0	0	0	8
	朝倉市宮野	100	6.6	5	0	0	0	0	0	0	5
	朝倉市須川	55	2.4	1	0	0	0	0	0	0	1
	朝倉市志波	100	23.2	24	0	1	3	0	4	8	32
	飯塚市入水	100	18.0	0	0	0	0	0	1	1	1
平均(13か所)	93.8	15.5	8.4	0.1	0.5	0.5	0.0	0.9	1.9	10.3	
筑後管内	大牟田市上内	100	21.5	3	0	0	0	2	2	4	7
	みやま市山川町立山	100	16.4	2	0	0	0	0	0	0	2
	八女市立花町白木	100	14.2	0	0	0	0	0	0	0	0
	八女市立花町飛形山	100	16.9	4	0	0	0	0	1	1	5
	八女市黒木町野田山	100	19.4	6	0	0	0	0	0	0	6
	八女市黒木町今	100	20.5	6	0	0	0	0	0	0	6
	八女市黒木町本分	100	18.5	18	0	0	0	0	2	2	20
	広川町梯	100	25.2	15	0	0	0	2	5	7	22
平均(8か所)	100	19.0	6.8	0	0	0.0	1	1.3	1.8	8.5	
行橋支所管内	岡垣町戸切	100	30.8	3	0	0	0	0	0	0	3
	みやこ町犀川町木山	100	6.8	3	4	5	0	0	9	12	
	上毛町唐原	85	6.4	0	0	1	0	0	3	4	4
	築上町寒田	95	11	5	0	0	0	0	0	0	5
	築上町本庄	8.5	6.8	4	0	0	0	0	0	0	4
	平均(5か所)	77.7	12.4	3.0	1	1.2	0.0	0	0.6	2.6	5.6
平均(26か所)	92.6	16.0	6.8	0	0.5	0.2	0.2	1.0	2.0	8.8	
前年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
前々年	97.6	16.9	16.1	0.0	0.3	0.7	0.9	1.2	3	19	

- 注1) 口針鞘数は20球果の平均である。
- 注2) ビーティング調査は、1地点5枝、1枝当たり5回のたたき落としの結果である。
- 注3) チャバネアオカメムシの卵から次世代の成虫になるまでの期間は、夏期の温度では約30～40日である。
- 注4) 前年は、8月5半旬で口針鞘数が22.4本あったので調査は行っていない。

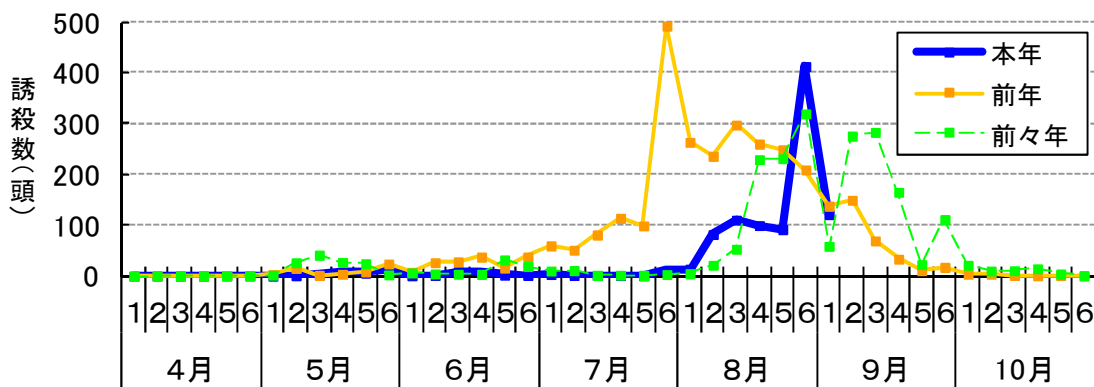


図1 チャバネアオカメムシの予察灯誘殺数の推移(県内4ヶ所の平均)

注) 調査地点は、久留米市、朝倉市、うきは市、八女市。

表2 果樹カメムシによるカキの被害状況

品種	調査地点		調査日	被害果率 (%)	品種	調査地点		調査日	被害果率 (%)	
西村早生	朝倉市	屋形原	9月10日	10	富有	飯塚市	入水	9月9日	1	
		朝倉町鳥集院		25		朝倉市	堤	9月5日	0	
		朝倉町須川		16			山田		0	
		朝倉町山田		2			杷木志波		0	
		杷木町志波		0			杷木古賀		10	
		杷木町久喜宮		5			うきは市		吉井町福益	9月6日
	うきは市	浮羽町山北	0							
	山本町耳納	22	吉井町鷹取	48						
	久留米市	田主丸町麦生	3	浮羽町流川		3				
		吉井町福益	0	浮羽町山北		0				
	-						久留米市	山本町耳納		0
							田主丸町地徳		15	
							八女市	本分1	9月4日	0
								本分2	9月6日	0
				本年	本年				5.9	
				前年	前年				1.1	
				前々年	前々年				0.3	
				平年	平年				1.1	

注) 調査果実数は1地点につき100果。

7 防除上注意すべき事項

- (1) チャバネアオカメムシの発生は地域の差が大きいので、果樹園内を注意して見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。
- (2) 果樹カメムシは広範囲に移動するため、薬剤散布は広域での一斉防除の方が効果が高い。
- (3) 防除薬剤は樹種により使用できる薬剤が異なるので注意し、農薬使用基準を遵守する。
- (4) 降雨があると薬剤の残効が短くなるので、散布間隔に注意する。
- (5) 今後の発生状況については、病害虫防除所ホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。